

(様式1)

## 県立高等学校重点校制度に係る事業計画書

学校名 岩美高等学校

重点項目	地域連携	提出日	平成31年1月31日
------	------	-----	------------

1 学校目標 (本校のミッション)
1 郷土を愛し、鳥取県及び地域に貢献する人財を育成する。 2 自らを信じ、他者を敬い、礼節を重んじる人間を育成する。
2 重点項目に係る目標 (1) 部活動を振興し、健康で心身のバランスのとれた人間の育成に努める。 (2) 地域と連携した学校づくりに向けて、一層の充実に努める。 <数値目標> ・「地域に貢献したい」と思う生徒の割合→全校の7割以上 ・「地域の行事や活動に参加(授業として参加するものは除く)した」延べ人数→学校全体の生徒数以上
3 事業計画 (事業名、事業概要)
<b>【関連独自事業】</b> 地域と連携し、地域に貢献する活動を主体的に実践し、地域の諸課題を創造的に解決することにより、郷土を愛する心を養う。そして、自らが将来の地域を支える存在であることの認識を深めるとともに、社会的・職業的自立に必要な能力や態度を育成する教育活動を展開する。 (1) 郷土の良さを知る。(山陰海岸ジオパーク学習) 山陰海岸ジオパークの中核をなす岩美町の海岸に見られる地形・地質・生物等を観察することにより、岩美町の自然に対する理解を深め、身近な地域にある貴重な財産を大切にしようとする態度を育成する。 (2) 地域課題解決学習 (イワッツ・ミッション) 地域の諸課題を地域住民の方と解決に向け調査・探求及び協働することにより、生徒だけでは気づかない事など大人としての視点を学ぶと同時に、社会的・職業的自立に必要な能力や態度を育成する。 (3) 地元小・中学校との交流 ・海の野外活動交流 シュノーケリング、シーカヤックを学んだ生徒たちが地域の小学生とともにマリンスポーツ活動を実施し既習の知識や技能を活かすことにより、生徒の自己有用感を伸長する。 ・農業活動交流 農業科目を学んでいる生徒たちが、地元の小学生の体験活動の補助者として既習の知識や技能を活かすことにより、生徒の自己有用感を伸長する。 (4) 福祉活動の充実 地元保育園及び福祉施設に出向き、実習を行う。実習を通じて、何が良くて何が不足しているかといった自己を振り返り、更なる学習意欲の向上に繋げる。実習を通じて生徒だけでは気付かない相手の思い・期待など生の声を聞き卒業後の進路選択の一助とする。

※数値目標は、年度内に実施するアンケートや実績をもとに、年度末に再度設定予定。